

詩張の核心

片上天弦

口マシテウツの文學 **が** その根本の心持ち

に誇張する他を有してゐることは、知らぬ

人かぬい。口マシテウツの文學者自身は、自

分の心持ちが、誇張的であるとも思つて居る友

い。そのあらゆるか、抑えてゐる。今

日々々々の心持ちには、誇張

的だと思はれる。しかしながら、誇張する

とつて、自身は、人の心の自然の要求

に基いて働かなくては、**心**の

深き心作用は、平凡單調な生活に色

彩を施し、豊富なまた暗くしては深刻

な意味を暗示するものである。やがて思はれ

る**人生の**。多くは何等かの境、**思**事柄に

いて、その小細るの何等かの誇張に自分の生

活の興味を、**事**系いてゐる。ことか多かである。

何等かの誇張なしには、**生**きてゐる。

趣味第二本